

環境調査—割り箸

- 1 自治体名： 黒龍江省
- 2 発表者名： 李 澤然 (LI Zeran)
(ハルビン市松雷中学校二年)
- 3 活動名： 環境調査—割り箸
- 4 活動期間： 2010年7月～9月
- 5 活動場所： ハルビン市
- 6 活動人数： 10人
- 7 活動をはじめた経緯および発表要旨

① 調査活動の内容

- ・どのような飲食業が割り箸を使用するか
- ・家庭では、どんな時に割り箸をたくさん使用するか
- ・使用済みの割り箸の処分方法
- ・割り箸に関する資料・データー

② 調査活動のとりまとめ

- ・中小型レストラン、朝食屋台と露店では割り箸の使用量が多いが、大型料理屋や居酒屋での使用量が少ない。
- ・家庭では、祝日・休日になると割りばしの使用量が増える。春節や国慶節とゴールデンウィークの期間における割り箸の使用量が最も多い。
- ・使用済みの割り箸は特に分別されずに、ほかのゴミと一緒に処分される。
- ・関連資料・データーによると、一本の木は2000膳ぐらいの割り箸しか作れないそうだ。

③ 考察

中国は世界最大の人口を擁する国である。約13億という人口は、もし1人が年間10回割り箸を使用するなら、中国では年間130億回割り箸を使用することになり、年間600万本の樹木が“食べられてしまう”ことになる。これは大変驚くべき数字である。

④ 調査活動の感想と提案

今は、使い捨て用品が増える一方で、私たちの生活をより便利にしてくれると同時に、多くのエネルギーと資源を浪費し、ゴミを増やし、環境汚染を引き起こすことにつながる。そのため、できるだけ、繰り返し使える、丈夫なものを使用すべきだと考える。

今後、自分で使い捨て用品を使わないだけでなく、他の人にも使わせないように、努力していきたいと考える。

